



2026年度

静岡国際交流会館

日本人学生入居前ガイダンス

国際課
国際連携推進機構 案野香子

入居前に確認

- 目的: ①異なる国の学生が同じユニットに住みながらお互いの国の言葉や文化を学ぶ
- ②外国人留学生・研究者と日本人学生が文化的・言語的な壁を乗り越えることによって、相互が国際感覚を養う

- 入居条件: ①国際交流に関心があり、留学生との交流などに意欲が高いこと
- ②入居期間は原則1年間
- ③基本的に、外国人留学生・研究者と同じルールおよびペナルティが課される

静岡国際交流会館の部屋

区分	室数	家賃（留学生）	共益費
単身室（ユニット）	95室	25,000円	2,400円

光熱費は実費請求
退去時清掃費

- 建物設備／多目的室
- ユニット内共用設備／キッチン、エアコン、洗濯機、乾燥機、シャワー、トイレ、インターネット、倉庫、下駄箱
- 個室設備／ベッド、勉強机、タンス、寝具類一式
- ※寝具類一式: 敷布団、掛布団、毛布、枕、シーツ、布団カバー、枕カバー
- ※シーツ・カバー類は月1回の交換（指定日）
- ※駐車場なし

静岡国際交流会館に入居している 留学生

研究！
学位！

大学院生 (インドネシア、バングラデシュ、タイ、中国)

学部留学生 (中国、韓国、ベトナム、インドネシア、ミャンマー…)

1年以内の短期留学生

日本語・日本文化研修留学生 (タイ、ベトナム)

交換留学生 (ドイツ、フランス、韓国、タイ、台湾、ベトナム…)

日本語で日本
の大学を卒業

Enjoy, 日本語、
日本文化

研究者 (单身室)

留学生の配偶者 (夫婦室、家族室)



国際交流会館での生活

5人で1つのユニットで共同生活

1人の個室 (ベッド、勉強机)

共有スペース (キッチン、洗濯機、シャワー、トイレ)

エアコン



ラウンジ、多目的室



どんな生活でしょうか。

留学生と日本人学生 ユニットでの生活



想像してみよう！ 国際交流会館でどんな生活ができる？

- 1 「国際交流」ができる
- 2 英語の練習ができる
- 3 留学生とイベントやパーティーができる
- 4 困っている留学生を助けてあげる
- 5 多文化共生の体験ができる
- 6 日本にいながら海外留学体験ができる



留学生にとっての国際交流会館

外での生活

日本語で
=外国語で

大学生活
(講義・ゼミ・実験)
サークル
バイト

実験成功
します
ように!

帰宅時間
は人それぞ
れ



会館での生活

人それぞ
れの過ご
し方

外の生活からほっと一息で
きるプライベートの時間
日常生活を送るところ



日本人入居者の先輩の生活



- 留学生のお兄さんたちにかわいがってもらった
- 花火やお祭りのとき、ルームメイトに浴衣を着せてあげた
- ルームメイトの料理の匂いで異国を感じる
- 異国の料理でおなかを壊した
- ベトナム語のスラングやイスラム教のことを教えてもらった
- 安い料金で外国の友達ができてラッキー
- みんな自分の生活ペースがある
- 留学生がみんな優しいから、自分も優しくなる。

あなたならどうする？

- 1 自分の食器・洗剤をほかのルームメイトに使われた。
- 2 共有スペースが一人の学生の私物でいっぱいになっている。
- 3 夜中に料理や洗濯する音がうるさくて眠れない。
- 4 夜、隣の部屋の学生が大声で話している。
- 5 ルームメイトがトイレを流さない。

先輩のアドバイス

- ・ 国際交流会館は「住み家」。あくまでも「自然体」で。
- ・ 仲のいいルームメイト、少し喋る程度のルームメイトがいる。
- ・ 自分から話しかける
顔をあわせるたびに挨拶や少し会話をすることが大切。
気になることがあったら声をかける。
- ・ **衛生観念が全く違う。潔癖症の人は会館の生活は向かない。**
- ・ 共同生活であることを理解する。部屋にこもらない。「お家大好き」な人は向かない。
- ・ ユニットの公用語は日本語、ベトナム語、インドネシア語、英語・・・。
英語の練習はほとんどできない。ただし、違う言語や初めての人に対するバリアはなくなる。
- ・ 自分磨きのためではなく、多様な人と関わる環境に身を置きたいと考える。
- ・ 教科書では知ることのできない、その国に生きる人の実際の生活や考え方を知る。
- ・ 「〇〇人として」ではなく、あくまでも個人・人柄同士の付き合い。
- ・ 共有スペースに長くいると(勉強、食事)、たくさん話す機会ができる。
- ・ 軽いノリが大切。とにかくやってみる。
- ・ 細かいことは気にしない。



×日本人として



○個人として

○細かいことは
気にしない

×潔癖症

つまり、会館での生活とは、、

- ・ 多文化共生

いろいろな価値観の集まり
多様な生活スタイルの集まり
自分が嫌だと思ふことは話し合う



- ・ 海外留学体験

華やかな部分 ⇔ 疲れて休みたい部分



- ・ 留学生も大人で一人の人間

お互いに助け合ったり、教え合ったりする

- ・ 外国人≒英語ネイティブ



シェアルームの生活で気をつけること

- ・ユニットの問題は自分たちで話し合って解決してください。
- ・ルールはユニットの**全員で**話し合って決めること。
- ・言いたいことがあれば、本人に直接言ってください。
- ・自分の不満を誰かに言いつけて、注意してもらうことが一番のもめごとの原因です。
- ・ユニットの全員と上手な距離感で付き合ってください。
- ・**ただし、問題や負担を自分で抱え込みすぎないこと。**
管理人さん、事務職員、教員に相談すること。

再確認

- 1 国際交流会館に入居する目的？
- 2 国際交流会館での過ごし方
- 3 国際交流会館入居の約束（誓約書）

相談窓口

- 国際連携推進機構 教授 案野香子 (あんのきょうこ)
共通教育A棟5階503
054-238-4504

anno.kyoko@shizuoka.ac.jp



気軽に相談
してください

- 国際交流会館 管理人さん
- 国際課国際学術交流課係 (共通教育A棟4階) 054-238-4319



静岡大学
Shizuoka University